

# 伏見区東部 京都市水害ハザードマップ

ホームページでもご確認いただけます。  
掲載情報は随時更新します。  
<https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp/0000000143.html>

保存版

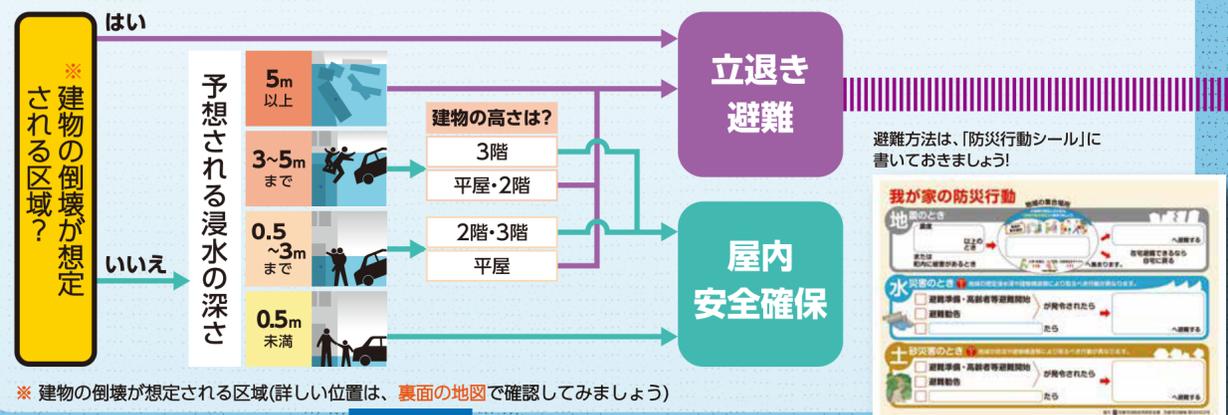
この地図に掲載されていない河川の  
洪水浸水想定区域はホームページでご覧いただけます。  
[https://www.pref.kyoto.jp/sabo/kouzui\\_sinsui/01kyoto.html](https://www.pref.kyoto.jp/sabo/kouzui_sinsui/01kyoto.html)



# あなたのまちで 水害が起こったら!?

## 正しい避難行動を知ろう!

想定される浸水の深さ、お住まいの場所・建物の高さによって、必要な避難行動には違いがあります。自分に必要な正しい避難行動を知りましょう!



## 避難情報の発令に注意しよう!

川の水位が高くなった場合に「警戒レベル3」高齢者等避難、「警戒レベル4」避難指示を発令します。発令されたら、正しいタイミングで避難を始めましょう!! (発令基準は、「京都市避難情報判断・伝達マニュアル」に記載)

もしもに備えて... ウェブから「マイタイムライン」を作成しましょう

京都市が発令する避難情報 (注意・警報等の気象情報)

雨の降り方や周囲の状況

避難の決め手となる3つの情報

作成はコチラから

高齢者等避難 (警戒レベル3)

高齢者等は避難を開始してください。(避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始してください。)

避難指示 (警戒レベル4)

ただちに避難を開始してください。

## 安全に避難しよう!

正しい避難行動と正しいタイミングで、安全に避難しましょう!!!

「避難」は、必ずしも、指定緊急避難場所へ行くことに限りません。裏面の地図でお住いの地域の浸水の深さに応じて、「立退き避難」か「屋内安全確保」かを、事前に確認しておきましょう。

**立退き避難**

安全な場所まで立退き避難

● 浸水区域の外又は近くの高い建物に早めに避難

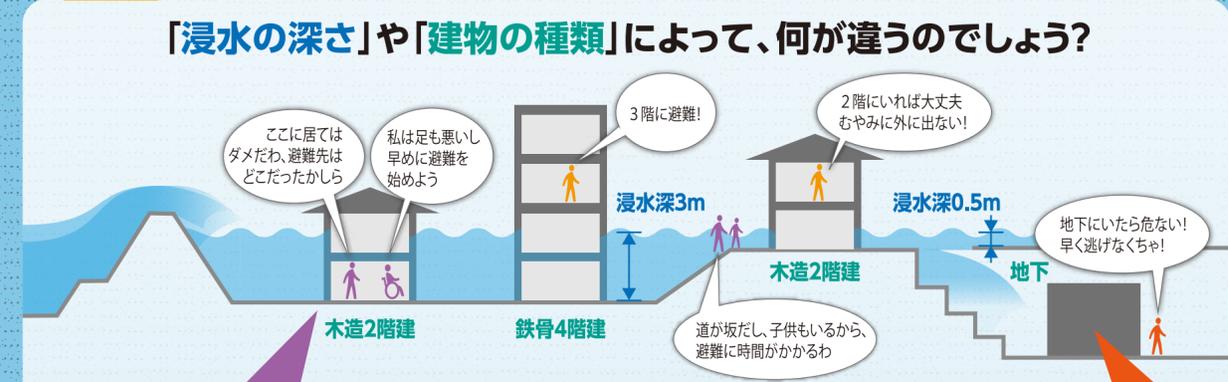
**屋内安全確保**

建物内の高い場所へ避難

● 浸水の深さと建物の高さによっては、2階以上に避難

# 正しく避難するための注意点

水害からの避難方法は、「どれだけ浸水するか」や「どんな建物か」などによって違います。みなさん自身で最適な避難方法、避難先を事前に決めておくことが大切です。



**早めに避難しましょう!**

川が氾濫する前に指定緊急避難場所(水害)、浸水区域外又は近くの高い建物などの安全な場所に避難しましょう。

指定緊急避難場所(水害)とは

水害から身を守るために避難する場所

※ 一方、指定避難所とは災害により、自宅で生活できなくなった場合に一時的に生活する場所。

**日頃の備え**

日頃から、「いざ」という時に備えておきましょう!

非常持ち出し品の準備をしよう!

水、食べ物や貴重品などの非常時に必要なものは、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。

情報を集めよう!

インターネットやテレビ(データ放送)など、天気や災害に関する情報の入手方法を知っておきましょう。

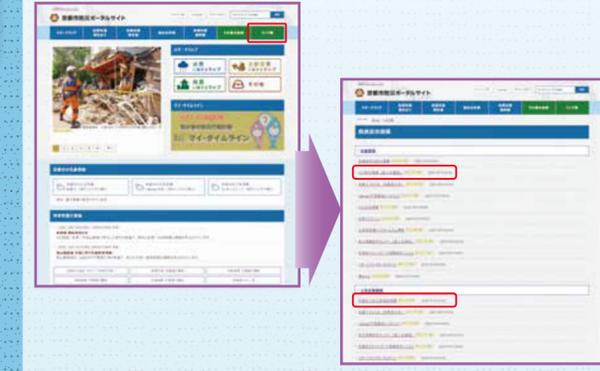
**地下は危険!!**

大雨により、地下に水が流れ込んだ場合、少しの浸水でも水圧で扉が開かなくなったり、階段を上れなくなったりします。

地下からは、早く避難しましょう!

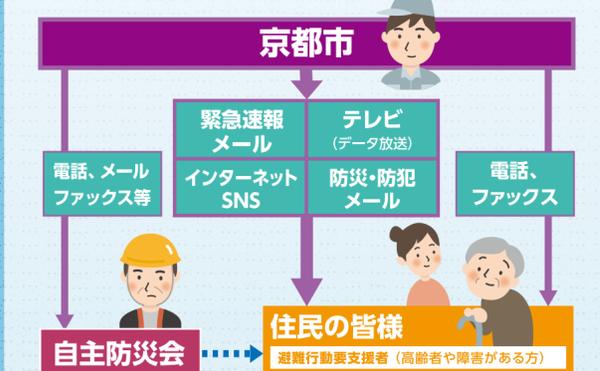
## インターネットやテレビ(データ放送)で調べよう!

天気や災害に関する情報は、京都市防災ポータルサイトやテレビ(データ放送)などで見ることができます。



## 避難情報を発令した場合...

避難情報を発令した場合は 様々な方法でお伝えしています。自分にあった方法で、避難に関する情報を受け取ってください。



## 水害、その他気になることがある場合は...

「避難情報案内システム」お住いの郵便番号により避難情報の発令状況を案内します (日本語) 075-241-9901 (英語) 075-241-9902

指定緊急避難場所(水害)に関するお問い合わせ

伏見区役所 地域力推進室(総務・防災担当) 075-611-1295  
深草支所 地域力推進室(総務・防災担当) 075-642-3125  
醍醐支所 地域力推進室(総務・防災担当) 075-571-6105

ご近所づきあいは大事です! 入りましょう自治会・町内会に

あいさつから始まるつながりが、人とまちを守ります。あふれやすい倒壊や崩れそうな壁、地域内の危険箇所など、地域の方でないと知らない情報もあります。日頃のご近所づきあいで、早めの対策や速やかな避難ができる場合もあります。